

令和7年度 学校関係者評価結果報告書

学校名	成田市立加良部小学校
-----	------------

1 学校教育目標

〈夢をもち 未来を拓く〉
確かな学力を身に付け 心豊かで 健康な子どもを育てる

学校関係者評価委員
学校運営協議会委員

2 本年度の重点化された具体的な目標

- (1) 思考し、判断し、表現する力を育てる学習指導の充実
- (2) 思いやりや自律心を育てる心の教育と生徒指導の充実
- (3) たくましい心身を育てる健康・安全指導の充実
- (4) 個々の実態や状況に応じた教育的支援の充実
- (5) 教職員の心身の健康を維持し、児童と笑顔で向き合うための働き方改革への取組

3 自己評価結果に対する学校関係者の評価・意見等

分野・領域	評価項目	評価の指標	取組状況	改善の方策	学校関係者評価	
					自己評価の適切さ	改善に向けた取組の適切さ
学習指導	〈教職員〉 子どもが「わかる、できる」学習指導の充実において、学年・学級・教科等の教育活動について、それに基づいた目標を設定し、具現化を図ることができた。	よくできている 21% 大体できている 63%	B	対話的学びを重視し、お互いの考えを共有したり、自分の考えを説明したりする授業を行い、子どもたちの思考力・表現力を高めることに努めた。また、教職員一人一人が課題をもって研修に取り組み、授業力の向上に努めた。自信をもって子どもたちへ学習指導ができるよう研修内容の一層の充実を図りたい。	A	A
	〈保護者〉 学校は、子どもをよく理解し、わかりやすい授業を行っている。	あてはまる 42% ややあてはまる 51%	A			
	学校は、子ども同士の学び合いや表現力の育成をめざした指導をしている。	あてはまる 42% ややあてはまる 52%	A			
学校関係者による意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどの児童がタブレットを使いこなしていて驚いた。勉強だけでなくいろいろな行事にも活用されているので良かった。 ・子どもたちに寄り添い、授業力の向上に向けた取り組みが見られる。 					
生徒指導 道徳指導	〈教職員〉 思いやりや自律心を育てる心の教育と生徒指導の充実について、学年・学級・教科等の教育活動において、それに基づいた目標を設定し、具現化を図ることができた。	よくできている 11% 大体できている 84%	A	縦割り清掃を実施し、異学年交流活動をより充実させて思いやりの心を育むことができた。 各教室にあいさつに関する掲示物をはったり、生活委員を中心としたあいさつ運動を継続的に実施し、コミュニケーションの基本としてあいさつの励行に努めた。家庭と連携を図りながら基本的な生活習慣の確立を推進していきたい。	A	A
	〈保護者〉 おさんは、友達を思いやったり、よいところを認め合ったりしている。	あてはまる 54% ややあてはまる 44%	A			
	学校は、明るいあいさつができるよう指導している。	あてはまる 55% ややあてはまる 41%	A			
学校関係者による意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・明るい楽しい学校になるよう校長先生をはじめ先生方の雰囲気づくりが素晴らしい。 ・学校を離れると近所の子ども等があいさつを返してくれないこともある。防犯意識なのかもしれないが、近所で見守られていることもあると思うので地域の方々への挨拶も大切にしてほしい。 ・縦割り清掃は異学年との交流が深まり、良い取り組みだと思う。 					
健康指導 安全指導	〈教職員〉 たくましい心身を育てる健康・安全指導の充実について、学年・学級・教科等の教育活動において、それに基づいた目標を設定し、具現化を図ることができた。	よくできている 32% 大体できている 58%	A	今年度は持久走の記録会を3回実施し、自分の設定した目標に向けて継続的に運動に取り組めるように努めてきた。他と比較するのではなく、自分自身の体力向上と目標達成を目指すことで体力向上を推進していきたい。 定期的な安全点検及び老朽化した施設の修繕を行い、安全・安心な学校を目指していきたい。	A	A
	〈保護者〉 おさんは、健康状態に気を付けたり、運動や外遊びをしたりしている。	あてはまる 50% ややあてはまる 42%	A			
	学校の校舎内外は整理整頓され、安全で安心して学ぶ環境づくりをしている。	あてはまる 50% ややあてはまる 45%	A			
学校関係者による意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の目標の達成を目的とした記録会はとても良いと思う。 ・自分自身と向き合うことで成長を促している取り組みが今後に繋がっていくと良い。 					
特別支援教育	〈教職員〉 個々の実態に応じた特別支援教育の充実について、学年・学級・教科等の教育活動において、それに基づいた目標を設定し、具現化を図ることができた。	よくできている 21% 大体できている 63%	B	一人一人の子どもたちの実態を把握し、学校全体で情報を共有してきめ細かな支援を広げられるように努めてきた。合理的配慮を含め、特別支援教育のさらなる充実を図っていききたい。また、保護者や地域への特別支援教育への理解をさらに広げていきたい。	A	A
	〈保護者〉 学校は、子どもの実態を適切に把握し、個に応じて教育活動を支援している。	あてはまる 39% ややあてはまる 49%	B			
学校関係者による意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級の先生方もとても熱心に指導されていた。 ・個々の心身の状態に応じた支援を引き続きお願いしたい。 					
保護者・地域との連携 働き方改革	〈教職員〉 教職員の心身の健康を維持し、児童と笑顔で向き合うための働き方改革への取組について、それに基づいた目標を設定し、具現化を図ることができた。	よくできている 15% 大体できている 60%	B	授業や、安全指導、学校行事等で、外部人材を活用したり、関係団体の協力を仰いだりして、教育活動の充実を図ってきた。来年度は地域コーディネーターと協力してさらなる地域人材の活用を目指していきたい。 教職員がゆとりをもって子どもたちと向き合うことができるよう、校務の精選をさらに進めていきたい。	A	A
	〈保護者〉 学校は、地域の自然や施設、人との関わり合いを取り入れた学習を進めている。	あてはまる 42% ややあてはまる 49%	A			
	学校は、家庭・PTA・地域と連携し、地域全体で子どもを育てようとしている。	あてはまる 40% ややあてはまる 51%	A			
学校関係者による意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・昔の遊び体験では1年生がとても楽しんで頑張ってくれていた。高齢者体験なども実施してはどうだろうか。 ・地域とのつながりの強化に努めていることが伺えて良いと思います。 					

4 次期の重点目標と改善のための方策

今年度の学校評価結果から、児童一人一人の実態や状況に応じた適切な指導・支援のあり方に課題が見られた。また、その対応の様子を適時保護者に知らせたり、学校や学級の取組を周知したりする活動が十分ではないとの意見もあった。以上のことを踏まえ、来年度は次の5つの重点目標を設定し、学校運営を進める。

- (1) 思考し、判断し、表現する力を育てる学習指導の工夫と充実
- (2) 思いやりや自律心を育てる心の教育と生徒指導の充実
- (3) たくましい心身を育てる健康・安全指導の充実
- (4) 個々の実態や状況に応じた指導・支援と保護者との連携
- (5) 教職員の心身の健康を維持し、児童と笑顔で向き合うための働き方改革への取組